

リーダーたちの本棚

Leader as Readers

エボラ出血熱など 緊急課題に迅速対応

【率いる】 Leading

国境なき医師団(MSF)は、1971年、フランス人医師とジャーナリストによって創設され、医療人道援助活動を40年にわたり継続してきた。70年代は内戦下のナイジェリアやボル・ボト政権下のカンボジア、80年代はソビエト侵襲後のアフガニスタンや内戦下のスリランカ、90年代は湾岸戦争と内乱からクルド人が避難したイラク北部や周辺国、ルワンダ、ボスニア・ヘルツェゴビナなどで活動し、99年にはノーベル平和賞を受賞している。MSF日本は92年に設立され、医療従事者、ロジスティシャン(派遣先での物資調達や施設・機材・車両管理者)など現在約300人が海外派遣スタッフとして登録、年間約100回の派遣を行う。派遣先は、国際機関や国、他団体の医療援助が行き届かない地域や緊急性の高い医療ニーズのある地域だ。日本事務局では50人が人事、資金調達、証言活動などの後方支援にあたる。

「例えば、中央アフリカ共和国は、殺りくや暴力に巻き込まれた負傷者、生活環境の悪化による下痢や肺炎、マラリアなどの患者が増えています。南スーダンは2011年に独立を果たすも、民族間抗争などが絶えず、食糧難や医療施設への攻撃などで栄養失調児が急増。避難した人々が暮らすキャンプは人口過密で衛生環境が悪く、雨期にはコレラも大流行しました。そして、西アフリカで流行しているエボラ出血熱。国際社会をあげての感染拡大防止や治療が追いつかず、さらに現地の医療従事者が感染を恐れ、病院を去ってしまう地域もあり、リベリアでは主要病院が閉鎖。本来助かる病気の治療を受けられずに亡くなる人も増えています。国連や大国が介入して初めて脚光がニュースになる地域も多い中、MSFはいち早く現地に入って活動を続けています」

日本の技術支援に大きな期待

MSFの活動資金は、民間(個人・法人)からの寄付が約90%を占める。日本の市民からの寄付も世界的に大きいという。

「支出に占める援助活動費は約80%と非常に高く、有意義な活動にぜひ関心を持っていただきたいと思っています。財務情報はすべて公式サイトで公開しています。また、MSFは日本企業の技術支援にも期待を寄せています。新薬やワクチンの開発、へき地で使える検査技術、輸送や通信技術など様々な分野で日本の先進技術が生かせるはずですよ」

今、世界の医療格差は広がる一方だ。シリアやパレスチナなど紛争が長引く地域では、ケガの後遺症やPTSDなど二次的被害に苦しむ人も多い。だが、治安の問題で思うような医療援助ができない地域も多い。黒崎さん自身、2008年にソマリアに派遣された際、スタッフや活動施設が攻撃される可能性が生じ、撤退を余儀なくされた。

「任務半ばで患者さんや現地スタッフのもとを去ったことは今も無念でなりません。いつか同国を再訪し、人々に尽くしたい」

現在は、父親から継いだ病院の院長を務めながら会長として東奔西走する。リーダーとしての自身をリンゴのへたに例え、「てへんに顔を出していますが、実際に活動させているのは、果肉にあたる約300名のスタッフたち。異論も含めて彼らの声をくまなく聞き、各国会長と密に意見交換しながら、重要な物事を決断していきます」と語る。

つい先日、ソマリアで一緒に働いた現地看護師から、病院で元気に働いているとの電話があったそうだ。困難な現場を知るリーダーは「何よりうれしい知らせ」と目を細めた。

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、黒崎伸子さんが語るリーダー論を紹介しています。
http://adv.asahi.com
朝日新聞 広告 検索



黒崎伸子さん

黒崎伸子さんのおすすめ本棚

【若草物語】上・下巻(岩波少年文庫) ルイザ・メイ・オルコット著 海都洋子訳
南北戦争に従軍教師として父を送ったマーチ家。4人の姉妹が愛情深い母親に導かれながら、つましくとも心清らかに成長する日々を描く不朽の名作。

【遠い山なみの光】(ハヤカワepi文庫) カズオ・イシグロ著 小野寺健訳
英国に暮らす、娘を自殺で失った悦子が、喪失感の中で過去を振り返り、戦後の長崎で懸命に生き抜いた若き日々と、出会った人々に思いをはせる。

【文明の衝突と21世紀の日本】(集英社新書) サミュエル・ハンチントン著 鈴木主税訳
93年に発表された「文明の衝突」理論の神髄を豊富なCG図表、概念図で表現。日本版読者に向けた二十一世紀における日本の選択を含む99年発表の二論文も収録。

【砂漠の女デリー】(草思社) リリス・デリー著 武者圭子訳 ※草思社文庫より発売中
ソマリアに生まれ、13歳で砂漠を逃げ出し、渡英してトップモデルに。FGM(女性性器切除)廃絶を訴え、国連特別大使も務めた著者が真実の半生を語る。

【なぜ、世界はルワンダを救えなかったのか PKO 司令官の手記】(風行社) ロメオ・ダレール著 金田耕一訳
100日間で80万人が虐殺されたルワンダ。そこには数ヶ月前から国連PKO部隊がいた。国連や国際社会は何を考え、何をした(しなかった)のかを問いつける。

1957年長崎県生まれ。長崎大学医学部卒。長崎大学病院などで小児外科医として勤務。国立病院機構長崎病院小児外科医長・外科部長を経て、現在は黒崎病院(長崎県)院長。2001年から国境なき医師団(MSF)に参加し、これまでに東日本大震災を含め、計11回世界各地で活動。10年3月から現職。

「『文明の衝突』は、イデオロギーや国家間の対立ではなく、文明間の対立になる、という著者・サミュエル・ハンチントンの20年前の予測は現実化しています。ハンチントンは、他文明の衝突を紹介しなくてはならない、交渉によって紛争を阻止すべきだと説きます。確かにそれは大切なことですが、現代の紛争は、ハンチントンの理論よりも複雑になっている気がします。シリアや南スーダンのように、同じ文明内に富や権力を持つ者や持たざる者との格差が広がっている地域もあり

【国際社会はどうすべきか 問題を提起する書】
「砂漠の女デリー」は、ソマリア出身のトップモデルが女子割礼の事実を公表した話題作で、彼女の勇気ある告白をきっかけにFGM(女性性器切除)廃絶運動が高まりました。私が07年と08年にMSFの活動と別に国連総会日本政府代表団顧問として、人権問題などを議論する第3委員会に参加した際には、産科ろう孔の撲滅という決議が採択されました。その理由は、若年女子の妊娠や異常

「なぜ、世界はルワンダを救えなかったのか PKO 司令官の手記」は、ルワンダでのジェノサイドを目撃しながら有効な手を打てずに撤退せざるを得なかったPKO司令官の苦悩の足跡です。彼は現在、カナダの上院議員ですが、司令官の任務終了直後は心的外傷後ストレス障害(PTSD)と診断され、自殺未遂を繰り返しました。心ある人だからこそ苦しんだのでした。私もソマリアで治安の悪化により緊急撤退せざるを得なかった経験があり、読んでいて身につまされました。今、MSFが活動する中央アフリカ共和国では、当時のルワンダを想起させるような暴力の応酬もたらす大国的危機が起きている。著者は、人道的危機を起すこと、著者は、その価値もない国の窮状に国際社会は無関心だと憤りますが、それは中央アフリカ共和国にも言えることです。悪夢が繰り返されなために私たちに何ができるのか。本書を常に手に届くところに置き、考え続けています。(談)

女性の自立を学んだ 米国の児童文学

読書家の両親の影響で、本に親しんで育ちました。小学生の頃は世界の名作を好んで読み、中でも『若草物語』はお気に入りの四姉妹の成長は、女性の生き方に描かれる四姉妹の成長は、女性の生き方に

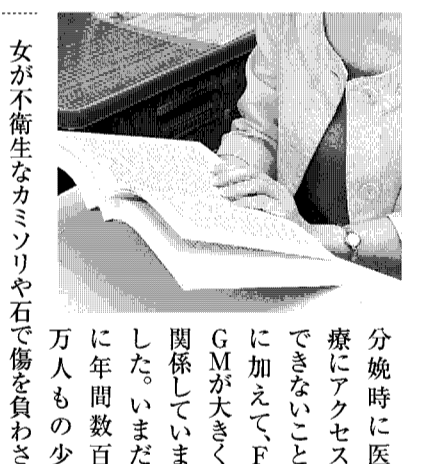
「『文明の衝突』は、イデオロギーや国家間の対立ではなく、文明間の対立になる、という著者・サミュエル・ハンチントンの20年前の予測は現実化しています。ハンチントンは、他文明の衝突を紹介しなくてはならない、交渉によって紛争を阻止すべきだと説きます。確かにそれは大切なことですが、現代の紛争は、ハンチントンの理論よりも複雑になっている気がします。シリアや南スーダンのように、同じ文明内に富や権力を持つ者や持たざる者との格差が広がっている地域もあり

「なぜ、世界はルワンダを救えなかったのか PKO 司令官の手記」は、ルワンダでのジェノサイドを目撃しながら有効な手を打てずに撤退せざるを得なかったPKO司令官の苦悩の足跡です。彼は現在、カナダの上院議員ですが、司令官の任務終了直後は心的外傷後ストレス障害(PTSD)と診断され、自殺未遂を繰り返しました。心ある人だからこそ苦しんだのでした。私もソマリアで治安の悪化により緊急撤退せざるを得なかった経験があり、読んでいて身につまされました。今、MSFが活動する中央アフリカ共和国では、当時のルワンダを想起させるような暴力の応酬もたらす大国的危機が起きている。著者は、人道的危機を起すこと、著者は、その価値もない国の窮状に国際社会は無関心だと憤りますが、それは中央アフリカ共和国にも言えることです。悪夢が繰り返されなために私たちに何ができるのか。本書を常に手に届くところに置き、考え続けています。(談)

「なぜ、世界はルワンダを救えなかったのか PKO 司令官の手記」は、ルワンダでのジェノサイドを目撃しながら有効な手を打てずに撤退せざるを得なかったPKO司令官の苦悩の足跡です。彼は現在、カナダの上院議員ですが、司令官の任務終了直後は心的外傷後ストレス障害(PTSD)と診断され、自殺未遂を繰り返しました。心ある人だからこそ苦しんだのでした。私もソマリアで治安の悪化により緊急撤退せざるを得なかった経験があり、読んでいて身につまされました。今、MSFが活動する中央アフリカ共和国では、当時のルワンダを想起させるような暴力の応酬もたらす大国的危機が起きている。著者は、人道的危機を起すこと、著者は、その価値もない国の窮状に国際社会は無関心だと憤りますが、それは中央アフリカ共和国にも言えることです。悪夢が繰り返されなために私たちに何ができるのか。本書を常に手に届くところに置き、考え続けています。(談)

援助を待つ地を思い読む

紛争地域や貧困地域、被災地域などを中心に世界約70の国と地域で緊急医療援助を行う国境なき医師団(MSF)。MSF日本会長の黒崎伸子さんは、2001年からMSFに参加し、これまでに、スリランカ、リベリア、ナイジェリア、ソマリア、シリアなど、緊急の医療ニーズがある地域で外科医として活動に従事。紹介された本もその活動に通じるものが多い。



千代田区飯田橋3-3-1
●詳細は⇒http://www.mikasashobo.co.jp
●(株)ブックライナー(フリーダイヤル)0120-398899(9:30~19:00)からご購入いただけます。

ISBN978-4-8379-2556-9 ●定価(本体1200円+税)

好評既刊 28万部突破! 減らず、手放す、忘れる「禅の教え」 枘野俊明

待望の最新刊 枘野俊明

競争から ちよっと離れると、人生はうまくなる

「言葉」は不器用でも、足りなくてもかまわない 岩田松雄

情と「理」 話し方の法則

スターボックス ザ・ボディショップ 元CEOの「人を動かす」 「強い信頼関係をつくる」 26の実践

知的生きかた文庫 来日外国人による「ニッポン仰天観察記」 「ニッポン再発見」倶楽部 3刷 明寿治 日本は外国人にどう見られていたか

祝 ノーベル賞受賞! 青色LED・中村修二、「夢実現」の人生哲学! 12万部突破!! 緊急大重版!!

世界のナカムラ・マジック

ノーベル賞受賞の大発明を可能にした やり抜く力、考ええる力、私の方法

あなたのもっと頑張る方法とは 間違っていないか!

誰でも好きなことから一点突破できる! 一見、鈍くさいやり方を重視するな! この動はたらきは訓練したいくらいでも伸びる! きわめて重要な「判断中止」の時間をつくれ! 能力が二番湧き出ている時にこれだけはやっておけ! 会社の反逆児になるくらい仕事に賭ける!

常識を打ち破る ブレイクスルーは 何から生まれるのか

自分を信じて突き進む勇気さえあれば、成功は現実のものとなる。結局、最後に勝つのは徹底して考え抜いた末に生まれる「独創性」と最後までやり抜く「粘り」を持った人間だ。この両輪なくして、大きな夢を実現させることはできない。

中村修二

カリフォルニア大学 サンタバーバラ校教授/工学博士

ISBN978-4-8379-1872-1 ●定価(本体1400円+税) 写真◎朝日新聞社